

# 人々は各々の魅力を持ってる

## 日本事情 2

### —G12、元善美—

#### 目次

1. 竹田さんはこんな人.....	1～2 ページ
2. 竹田さんに決めた理由.....	2 ページ
3. インタビュー.....	2～4 ページ
①竹田さんの趣味と韓国語.....	2～3 ページ
②竹田さんのなまり.....	3～4 ページ
4. インタビューが終わって.....	5 ページ
5. 授業を振り返って.....	5～6 ページ

#### 1. インタビューする人は誰？

私が紹介する人は日本人の友達竹田龍一という人です。専攻が日本語の私は韓国にいたとき日本の友達がいなくて日本の文化と日本語はインターネットしか使うことができませんでした。はじめは私が日本に留学する前に日本人の友達と付き合いたくてペンパルのサイトを探しました。登録してからすぐ返事が届いてチャットをはじめました。これが私たちが知るようになったきっかけでした。日本人とチャットするのは難しかったですが、相手は韓国語も上手で対話は韓国語で話しました。韓国にも関心があって韓国語を一人で勉強して、韓国には7回ぐらい行ったそうです。とても正確な文法と韓国人のようなチャットの用語にびっくりしました。

韓国に関心できたのは好きな歌手がいて盛り上がったからだそうです。Babyboxという韓国の女性5人の歌手ですが、ほかにも韓国の映画、ドラマにも関心があるそうです。日本人が韓国のことにたくさん知っていたので、びっくりしました。そして話しながら私と似通ってる部分がたくさんありました。都市より田舎のほうが好きで写真を撮ることが好き、そして歌手も、映画のジャンルも旅行が好きなのも同じでした。韓国人でもこんなに似通ってる部分がある人はいなくてこんなところでもびっくりしました。

竜一さんの出身は富山という秋田よりもっと下の方にあり、車で片道が6時間もかかるそうです。

そして冬には秋田より雪がたくさん降りますが大きな山(立山)があつて台風とか風が強くない  
そうです。日本に来る前にも日本のどこが有名なところか、今の日本ではこんなことが流行して  
いる、富山はどんなところかをたくさん教えてもらいました。そして竜一さんは自分の地元につ  
いて誇りを持っている人と思いました。富山の景色、そして旅行地、なまり、

日本に来て竜一さんにあつたとき富山弁というものはじめて聞きました。話し方がとても速く  
て少し荒っぽくてわからなかった部分がおおかつたので、困りました。しかし竜一さんは親切に  
標準語で説明してくれました。秋田弁と違う言葉でおもしろかつたです。

竜一さんは自分がなまりを使っていることは恥ずかしくないといいました。私は今日本語を勉強  
しているので竜一さんに少しは標準語でお願いしましたが、なかなかなまりのことを捨てられ  
ながつているようです。富山弁は聞きにくいけど竜一さんはそのなまりになんか情けみたいなこ  
とが感じられるといいました。

なまりというのはやっぱりもっと親しい感じで、その地域の特徴がよく表れることです。私の地  
元はだいたい標準語ですが、少しなまりもつがつていますがそのなまりに誇りを持っている人  
はあまりいないと思います。でも竜一さんは誇りを持っているってすごいと思いました。

富山は都市ではないけど空気がきれいだし、海と山があつて景色がきれいだし旅行するところも  
いろいろあつて住みやすいといいました。

## 2. インタビューしたい動機はどうして？

留学のため日本に来る前から知っていた竹田竜一さんは私に日本のいろいろに話してくれまし  
た。日本語もちろん、文化とか自分が住んでいる地方の観光地など、そして私は韓国語、韓  
国の文化、食べ物、歌手などを教えてあげました。日本に来てから一番役に立った人として、初  
めて会つた外国の友達だから、竹田竜一さんの魅力は何だろう、もっとその人に知りたいと思つ  
てインタビューするようになりました。

## 3. インタビュー

1月4日 日曜日、18:30~19:30

\*インタビューは韓国語で話したのでそれをまた翻訳しました。

\*なかなか会えなくてインタネットでした。(チャット)

A:お忙しいところすみません。授業の中で日本事情の科目があつて、インタビューして  
その人について調査するんです。ご協力お願い致します。

B:はい、わかりました。こちらこそよろしくお願ひします。

A:竜一さんの趣味は何ですか？

B:趣味は読書すること、そして音楽を聴くこと、漫画読むこと、写真をとることです。  
その中で写真をとるのが一番楽しくて写真の同好会も入っていますよ。

一ヶ月2, 3回ぐらい参加しますけど、

A:本当に好きなんですよね～ 写真取りにどこかに旅行とかも行きますか？

B:はい、この前は石川に行ってきました。

A:すごいですね～趣味のため積極的ですね～

B:はい、とても楽しくて (笑)

A:韓国語を始めたのはいつですか？

B:韓国語は高校の2年生からです。

A:韓国に行ったことはありますか？

B:え～と、7回ぐらい行ったことがあります。

A:たくさん行きましたね。(笑)

B:はい、何回も行ったことがありますけど本当に楽しくて (笑)

A:そうですか～ 韓国語を始めたきっかけは何ですか？

B:高校の2年生の時、修学旅行で韓国に行きましたがその時日本以外の国の文化が独特だったので、それで韓国語をならいたいとおもったんです。そしてちょうどその時期にbabyboxという歌手も好きになったので韓国語をはじめたんです。

A:へえ～そうですか。すごいですね。歌手とたった一回の旅行で韓国語を習う決心をしたのが、

B:いや、それは誰でもできることとおもってます。

A:韓国に行ったとき何をしましたか？

B:韓国に友達がいる友達と一緒に三枚肉を食べに行ったり、歌手のコンサートもみたり、そして韓国の伝統的な建物とか場所に行ってきました。したことはいろいろありますよ。韓国の中でも旅行したりして、本当にたのしかったです。

A:三枚肉 (笑) 韓国の食べ物は口に合いますか？ 辛くなかったですか？

B:最初はとても辛くて食べられなかったのですが、少しずつなれて今は唐辛子がなかったら食べません。(笑) 特にキムチは日本に帰ってきてもマートで買って食べるぐらい好きです。

A:本当ですか？キムチまで食べるなんて、すごいですね～！韓国語は話せますよね～

B:はい、去年韓国語の試験受けて準2級とりました。これから1級を目指して勉強しています。

A:韓国語も上手ですね～ 初めてチャットした時びっくりしました。韓国人みたいで、

B:いいえ、まだまだですよ、韓国語は本当に難しいです。日本語とは違って擬声語とか発音が難しくて最初勉強したとき諦めるかなあと思ったこともありました。

A:そうですか～私は日本語の方がもっと難しいですけど、(笑) これからも勉強がんばってくださいね～ あ、そして今日本の富山というところに住んでいますよね～

B:はい、そうです。

A:富山はどんなところですか？

B:富山は日本で持ち家が一番多いところです。そして富山には立山という大きい山があって山に登るため外国の観光客もたくさん来ています。立山があって台風が来てもあまり影響をされません。また夏は雨が、冬には雪がたくさん降ります。秋田より気温の差がひどいです。

富山から秋田までは車で6時間ぐらいかかりますよ～

A:やはり遠いんですね。富山は、、

B:はい、でも景色も空気もきれいです。立山と黒部峡谷は富山の有名地ですよ～

A:そうですか。では富山も秋田のようになまりがありますか？

B:もちろんあります。私も富山弁は使ってますよ。富山弁は韓国の釜山とおなじような感じですよ。

他の地域より話方が激しくてスピードが速いです。

A:たとえばなにがありますか？教えてください（笑）

B:え～と、、これがきゃ、それがしゃあでつかいます。たとえばきゃ何よ？これは何？と同じです。そしてしゃ違うにかはそれちがうじゃん、そう言うが=そいが、、こんな感じですね～ わからないでしょう？

A:そうですね、、ぜんぜん違いますね～ また他の表現ってありますか？

B:食べてみようか？は 食べてみるけ～、なにそれ=どいがけ～ いろいろありますね。（笑）

A:むずかしいですね～やっぱり、、そのなまりを使って恥ずかしいと感じたことはありますか？ 普通は標準語を使おうとするんじゃないですか～

竜一さんにとってなまりは何だと思えますか？ 一言はなしてください。

B:そうですね、、最近みんななまりをはずかしがってあまり使わないようにしますが、私の場合はその反対ですね～

なまりを使うのは富山に住んでいる人は当然だと考えているし、なまりには情けとかが感じられます。みんな使わないとどんどんなくなるのが現実ですね。私だけじゃなくて他の地域の人々はそれを守りたいという気持ちがあるのでなまりを捨てられないかもしれせん。

A:そうですか～ それはそうですね～

B:そしてなまりはとても面白いです(笑)おのおのの都市の性格とか特徴がわかれて、、

A:ところで、竜一さんは今仕事していますか？

B:はい、しています。でも韓国語の勉強をもっとがんばって将来は韓国と日本を結ぶ通訳になりたいです。

A:そうですか？通訳もになりたいですか？

B:はい、それが最後の目標です。それで韓国語の試験も準備しているんです。

A:すごいですね。一緒にがんばりましょう！

B:はい！！

A:今までインタビュー答えてくださってありがとうございました。

B:いいえ、わたしこそすみませんでした。

インタビュー時間は1時間ぐらいでした。

#### 4. インタビューを終えて

普段インターネットで話し合いますがインタビューとして話し合っただけで目新しかったです。

知り合ったのは少し前ですけどこんな主題で話し合うとその人について知らなかった部分と知っていた部分も全部改めて聞くことができたので時間があつという間にすぎた程楽しかったです。インタビューする前は二人ともなんとなく緊張をして最初はなかなか話が進まなかったのですが、ずっと話しているうちに緊張はなくなって終わってからはほっとした感じでした。

そして趣味に積極的な竹田さんと違ってわがままっていうかあまり部活とか活動してない私に竹田さんは自分が好きなことには一生懸命しなければならないことを教えてくれました。

竹田さんは韓国語を習ったきっかけが歌手と一度旅行した場所に関心ができたのですが、私の場合は少し違いました。私は最初日本語を始めたきっかけは漫画が大好きなので始めましたがもっと好きになったのは日本語の塾に通いましたけど、その先生と塾で会った人達がとてもやさしかったし、親切だったので日本語の勉強がもっと楽しくなりました。

そのちょうどこの時期日本の音楽にはまって日本語を大学に入ってもやりたいという思いがあつて今日本に留学するようになりました。そして竹田さんは自分の地方に誇りを持っているのをわかりましたが、私にはこういうのは思ったことがなかったので少し恥ずかしいことかなあと感じました。これからは竹田さんのように私ももっと自分の地方のことをかかんがえなければならない、自分の地方にほこりを持っているのは本当にすばらしいことだと思いました。

人と人の出会いは偶然でも必然でもあります。私はたとえ偶然としての出会いであってもそれを大切にしなければならないと思っています。知り合ってから相手に長所、短所ももちろんあります。短所を見つけてもそれをお互いに理解したりアドバイスもしたりすることが本当の友達の同士じゃないかと思われれます。今回のレポートをしてその人の魅力について分かるようになりましたが、ちなみに友達の意味についても考えられるいい機会になりました。

#### 5. 授業を振り返して。

韓国にいたときは日本人と一緒に勉強するとか話し合う機会があまりなかったです。留学をしてから初めてすることがいっぱいなので最初は緊張をしましたが実際話し合ったら日本語がまだ上手じゃない留学生にみんな親切に教えてくれました。話しているとき知らなかった部分があったらグループの人たちがすぐ簡単な表現に変えて話したり単語の意味を直接辞書を引いてもらったりして本当に役に立ちました。グループの中で音楽に興味がある人々がいて知らなかった

音楽の情報ももらえてコンサートとかに行ったりホームページも教えてもらって興味ができるようになりました。文化と国は違いますが見た目と好きなもの、勉強する目標、大学生の気持ちは本当に同じでした。やっぱりこれは国の問題じゃなくて同じな人間だなあと感じられました。この授業をとってもっと日本人の友達と話し合ったし、今まであった緊張感、違和感などがなくなったし本当に役に立ちました。

# 友達というもの

—日本事情Ⅱ—

---

## 《目次》

### 1. テーマメモ

- 1-1. インタビューしたい相手の紹介
- 1-2. 相手との出会い
- 1-3. 大学について
- 1-4. 魅力・見習いたいところ

### 2. インタビュー結果

### 3. まとめ

- 1-1. インタビューを終えて
  - 1-2. 授業を受けて
- 

教育文化学部  
3年次  
<G12> 崔東姫

## テーマメモ

### 1. インタビューしたい相手の紹介

インタビューしたい相手の名前はS.Hと呼ぶことにします。彼女は自分と同じ年の友人であり、同じ大学で同じ学部だった人です。今は東京で一人で暮らしながら勉強しています。去年の前期から語学院に通い始め、もうすぐ日本での生活はちょうど一年になります。

### 2. 相手との出会い

2006年、私は無事に高等学校を卒業して大学に入学することになりました。大学に入る頃、親の転勤のため引っ越ししていたから、新しい学校での知り合いはかなり少なかったです。あの頃はまだ専攻に対しての考えをはっきりしていなかったので、学校の活動などにもあまり興味なくて入学式にも参加してなかったです。

彼女も個人的な事情で入学式に来ることができなかったから、二人が初めて会ったのは入学してから二週間くらい過ぎた後でした。授業で彼女と隣の席に座っていたことから仲良くなった他の友達(男)から紹介してもらったのです。目が大きくて髪の毛の短い彼女に初めて会った私は、かなりボーイッシュな子だと思いました。

私は人見知りで、初めて会った人と楽に話すまで結構時間がかかります。だから彼女が何気なく話しかけてくれた時、すごく嬉しかったです。後に聞いた話によると、大学に入ってから付き合った同性の友達は私が最初だったようです。同性の友達がほしくて、勇気をだして話をかけたそうです。いつもその頃のことを話し合う時は、二人とも「自分が可愛かったから話かけたのよ」と言っていました。同じ話で何度も一緒に笑っていたのです。

二年生の頃までは月曜日から金曜日まで同じ授業を受けていたから、いつも一緒だったのです。初めて会ってから四年目になりますが、今まで特にけんかしたことはありません。性格はまったく反対である私たちなのになぜかは分かりませんが、多分違うところがあるだけお互いに合わせてあげたからではないかと思います。二人とも美味しい物が大好きで、食べに出かける時が多かったです。これも彼女はパスタ好きの洋食派で、私はまったく韓食派です。「今日はパスタ屋のランチー。では、明日はチゲ(鍋料理)です」のようにしてきたから、けんかする理由がなかったのです。

### 3. 大学について

私は去年の10月から秋田大学で留学することになりました。留学生として専攻をはっきりしていないから、語学の授業以外にも多様な授業でいろんなことを教えてもらっています。

向こうの大学での専攻は日本語学といって日本語を深くまで勉強するのです。だから同じ専攻の人はみんな日本に対して興味があると言えます。実際に同じ学科の人の中では「日本の音楽が好き、だから本場の言葉を勉強してもっと自分の好きな音楽に近くなりたい」という人もいたのです。



私はどこだとはっきりとは言えませんが、高校の時に第2外国語として日本語の授業を受けたことがきっかけになったと思います。日本語は自分の母語である韓国語と語順が同じであり、似た部分がたくさんあります。元々英語や中国語の勉強もやっていたのですが、両方とは比較もできないほど似ています。でも簡単に退屈なのかといえば、そうではなくて文化の差による違う部分があったりするから勉強することに面白みがあるのです。今のところこんなに楽しい勉強を始めてよかったです。

彼女は元々歴史の勉強が好きな人でした。大学の入試の時にも実は歴史の勉強がもっとやりたかったそうです。個人的な事情で歴史の勉強は続けられなかったようで、専攻は日本語学に決めたそうです。韓国と日本は昔から歴史的にとっても大切な関係であり、歴史の勉強をするとしたら相手を抜きにすることはできないと言います。小さな頃からずっとこんなことを本で読んだり、学校の授業で教えてもらったりしていたから自然に日本に興味ができたそうです。これは前に話した日本の音楽に興味のある人と同じだと思います。日本語を勉強したら、これを通じてもっと(韓国と日本についての)深い歴史の勉強ができるということです。

#### 4. 魅力・見習いたいところ

私が彼女に見習いたいことは独立心と責任感があるところです。彼女は大人びた人で、料理とか仕事やアルバイトとか自分が下手なことにうまいのです。たとえアルバイトがとても大変だとしたら、私はすぐやめてしまうところがあります。彼女は一回始めると、自分のすべきことははっきりする人です。親に頼らず、自分で稼いだお金で欲しかった高いカメラを結局買っちゃったエピソードがありました。また、彼女の家遊びに行くと彼女の料理を食べたことがありますけど、いろいろな料理をとてもうまくやっていて驚いた記憶もあります。

日本に留学するのを決めた時にも、自分の未来とか夢のために新しい世界に出るのを恐れないところが印象的でした。私は初めて秋田に来た時、学校の人たちと一緒にいたけれどもとても寂しかったです。よく考えてみると、毎日向こうの家に電話して泣きごとばかり言っていました。まだ韓国にいた時、東京の彼女から電話がかけてきたりする時がよくありました。いつもと同じような声で、日常の話をしていました。私も実際に家族と離れてみたら、あれがどんなにすごいことだったのか分かるようになって感動しました。一人で寂しさとか心配に打ち勝って、一所懸命に頑張っている彼女が誇らしいです。

始めにはただ一年間の語学研修の計画だったのですが、今のところもっと日本で勉強して日本の大学に進学したいと言っている彼女です。いつか自分の望む大学で勉強する彼女を想像するのは難しくないです。

彼女だといっても苦しい時もきっとあるはずだと思います。疲れた時や痛い時には、私も家族になりたいです。私が苦しい時には彼女もきっと同じようにしてくれると思います。また、私ももっと大人っぽく、彼女の独立心や責任感を見習いながら、日本での残っている時間を大切に生きてゆきたいと思います。

## インタビューの結果

日時：2009年1月2日(金曜日)

時間：20時00分～21時00分

場所：東京の彼女の家にて

1. (一人暮らしをために、12月に引っ越ししてきたばかりです)  
引越した家はどうですか？

学校とバイト先とはちょっと遠いけど、きれいだし静かだからいいです。  
よく遊びに行っている渋谷と近いから便利だし。

2. 日本に来てどのくらい経ちましたか？

今年の四月でちょうど一年になります。  
短いといえば短く、長いといえば長い一年があつという間に経ちました。

3. これからどのくらい日本にいるつもりですか？

まだはっきりしてないけど、知っているとおりの新しい家に来たばかりですね。  
家の契約問題もあるし、これから何年間はそのまま日本にいると思います。

4. 今は冬休み中ですが、普通に学校に通っている時のスケジュールはどうなりますか？

朝起きて、学校行って、終わったらバイトに行きます。  
バイト終わってからは、みんなと休みながらいろいろ話したりします。  
時々渋谷とかに飲みに行く日もあります。

5. 休みの日はどうですか？

渋谷へ買い物行ったり、友達と遊びに出かけたりします。

もちろん家でdvdを見たり、本を読んだりしながらのんびりする時もあります。  
日本語の字幕が付けている韓国の映画をよく見てるんですけど、(字幕の)微妙な違いとか  
を見つけたりすると、一人で同じ作品を何度見てもつまらないです。

6. 最近、新たにできた目標とかはありませんか？

日本で大学に入るとどうかなって思っています。  
だから、最近は仕事終わったら大学入試に必要な勉強をしたりしています。

7. 韓国の大学では日本語の勉強をしていました。  
今度日本の大学に新めに入学するとしたら専攻は何にしようと思っ  
てますか？

韓国で受験を受けた時にも実は、もっと歴史の勉強をやりたかったです。  
だから専攻を変わるとしたら、歴史にしたいです。  
もっと深く勉強して、将来には歴史に関わられた仕事をしたいと思っ  
ています。

8. 日本の大学への進学をためにどんな努力をしていますか？

バイト終わって家に帰ったら、いろんな勉強をしています。  
韓国での受験のためしていた英語の勉強や、数学の勉強などいろいろあります。  
大学に入ってからあんまりやってなかったから、時々苦勞もあります。  
知らないところがあったりすると、友達に聞いてみたりしながら頑張っ  
ています。

9. 東京での一人暮らしには勉強以外にもいろいろ苦勞があると思っ  
ますけど  
(どうですか？)

家族と通話したりすると、急に何も思わず 帰りたくなる時があります。  
また痛い時とかに一人でいると寂しくなったりする時もあります。

10. そんな時はどうやって我慢しますか？

何も思わず寝たり、スーパーマーケットで買い物して料理をしたり  
します。  
また、友達に電話をかけていろいろ話したりもします。

あの時は、あなた(私)に電話かけることが多いですね。  
話し合うことだけで助かります。毎日のようなメールもありがとう。

## まとめ

### 1. インタビューを終えて

よく考えてみると、前にも書いたとおり会ってから四年目、しかもけんかしたこともない  
すごい中がいい友人だったのですが、深い話をしたことはなかったようです。日本に来るの  
を決めた時にも、「留学を終わってからは何がしたいか」などについては、特に話したこと  
がありませんでした。そういうことで、今回のインタビューを通じて今までできなかったい  
ろんなことについて話し合えてよかったと思います。普通にできなかった質問や答えとい  
う言葉のやりとりで、関係を深めた感じがします。

授業でのレポートとして自分の知り合い(家族、友人、恋人… 私がうちのグループと隣  
のグループ、アドバイスをしてあげるため読んでいた10人内外の人たちのレポートにも本  
当にいろいろな相手がいるのでした。) をインタビューするというのは、大学に入っ  
てか

らやっていた様々なレポートの中でも非常に独特なものだと思いました。最初テーマメモを書き始めた時には不慣れなやり方のため大変だったのも事実ですが、今のところ、とても自分になったと思います。

ちなみに、授業で先生からもらったアドバイスの中で「相手にした質問に自身も答えてみたら」というものがあったのです。これについては下書きには書いてなかったですけど、実はインタビューをしているうち、自分でもいろいろ考えていたのです。インタビュー相手の彼女と私は留学を続けているというものと、日本語の勉強をしなければならないというもので、同じ場合だとも言えるからです。

秋田にきて四か月目、自分でよく考えてみると(自分が)今までのいつよりも大変変わっているのではないかと思います。そのひとつとして将来に対する考えですが、地元の大学だけで勉強していたとしたら、たぶん普通に卒業だけに向けていたかも知れません。ここにきてからこそ、いわゆる広い世界が感じられました。今のところ、彼女の新たにできた計画のようにはっきりしているのはまだ何もありませんが、私もこれからの卒業や就職とかについていろいろな方面で考えておきたいと思っています。

## 2. 授業を受けて

あつと言う間に学期末になりました。「あつと言う間」という言葉は発音と意味が似ている面白いです。聞いたらすぐ理解できる、覚えやすい言葉だから好きです。

本当にあつと言う間にもう二月です。実は最初の一か月間くらい、私はどうしてもみんなの名前が覚えられなかったです。授業に入ってきたら、さっきに先生からの指示で持っていたみんなの名札を見ていました。

名前を覚えました。毎週互いのレポートを読み、読んでもらいました。最終レポートのため書いていたレポート(テーマメモ・インタビューなど)は短かったのですが、少しずつでも相手を分かるようになった機会だったと思います。お母さんと仲がいい菅原さん、音楽が大好きな雄鹿さん、今家さん、友達を大切にする元さん、南さん。みんなのレポートを読んでいるうち私も家族や友達、自分の好きなものについてもう一度考えてみる事ができました。

この授業を受けてなかったなら、うちのグループのみんなとは学部が違うため、会える機会がなかったかも知れません。多文化コミュニケーションという授業のテーマのとおり、私はコミュニケーションのできる優しい友達に会えました。大変だったところもありますが、授業を受けてよかったと思います。日本語をうまく話せなかった私に、やさしい言葉でいろいろ教えてくれて嬉しかったです。ここから感謝しています。

また、牲川先生の新しい授業の方式についてはとても自分になった気がします。決められている方式でなく、学生それぞれの個性によって違う結果が出せるようになっている授業だったと思います。

# 親子の会話

G 1 2 菅原 香織

## もくじ

1. インタビュー理由
  - 1-1 インタビュー相手の紹介
  - 1-2 インタビュー相手の魅力
  - 1-3 インタビュー相手についてまとめ
2. インタビュー結果
3. インタビューの結果わかったこと
4. 日本事情Ⅱを振り返って

## 1. インタビュー理由

インタビュー相手は母にしました。

身近にいるけどあまり深く話したことがないので今回のインタビューを通して今まで以上に話し合えればよいなと思いました。

### 1-1 インタビュー相手の紹介

私がインタビューしたい相手は母です。母は49歳で名前は菅原直美と言います。生まれも育ちも秋田市です。私は自宅生なので、母と過ごす時間も多いのですがこの機会にじっくり話してみたい、と思い今回のインタビュー相手に母を選びました。

母は仕事をこなしながら、家の掃除や洗濯、夕飯の準備など家事のほとんどを行っているから尊敬しているので日本事情の授業を通して話を聞いてみたいと思いました。

### 1-2 インタビュー相手の魅力

スーパーに車で買い物に行って、歩いて帰ってきたこと。

仕事をしながら家事全般をこなしていること。

しっかりしている部分もあるがたまに抜けていてビックリするような行動をとること。

### 1-3 インタビュー相手についてのまとめ

インタビューしたい相手は母にしようと思っています。

身近にいるけどあまり深く話したことがないので今回のインタビューを通して今まで以上に話し合えればよいなと思います。

#### ・インタビュー相手の紹介

私がインタビューしたい相手は母です。私は自宅生なので、母と過ごす時間も多いのですがこの機会にじっくり話してみたい、と思い今回のインタビュー相手に母を選びました。

母は仕事をこなしながら、家の掃除や洗濯、夕飯の準備など家事のほとんどを行っているから尊敬しているので日本事情の授業を通して話を聞いてみたいと思いました。また最近では仕事を一つ増やしました。私には妹がいて、私と同様かなりお金がかかるので、家族のために自分の時間を割いて働いてくれる母にはとても感謝しています。

・インタビュー相手に関する印象的なエピソード

スーパーに車で買い物に行って、歩いて帰ってきたこと。

年齢は30歳違いますがお互いが休みの日には一緒にご飯を食べに行ったり、買い物に行ったりして話をしていると年相応とは思えないようなしゃべり方をして、話していても楽しいです。

いつも適当なことばかり言っていますが、就職して新潟で独り暮らししている兄のことになると、やたら心配し始めて、連絡取ることを恥ずかしがったりします。

私が高校を受験する時も、大学を受験する時もあまり意見することなく、口うるさく何かを言われた記憶はほとんどありません。自分のやりたいようにしなさい、と言われてました。そのおかげで今はこうして、無事に秋田大学へ入学して、授業も受けることができます。

・その人は自分にとってなぜ魅力的なのか、どんな人か

仕事をしながら家事全般をこなしているところ。しっかりしている部分もあるがたまに抜けていてビックリするような行動をとることです。

母は49歳で名前は菅原直美と言います。生まれも育ちも秋田市です。基本的にやさしいのですが、とても甘やかしてくれるというわけでもなく、時に厳しく時に優しく育てられてきました。しかし私のバイトが終わる時間が遅いのですが、自分も仕事していて疲れているのに迎えに来てくれます。もちろん家族で親子なのだから当たり前、と思ってしまうそうですが、ちゃんと感謝しようと思います。

## 2. インタビュー結果

・自己紹介してください

菅原直美です。秋田生まれの秋田育ちです。1959年9月29日生まれのB型のおてんびん座です。好きな歌手は松山千春やポルノグラフィティなど邦楽ばかりを聞きます。乗ってる車はSUBARUのPLEOです。性格はおっちょこちょいで片付けが苦手です。好きな食べ物は、甘いものだとケーキでお刺身やカニも好きです。

・最近自分はおっちょこちょいだなと思ったエピソード

自宅の鍵を家のドアにさしっぱなしにしたまま出かけたこと。

・休日は何をして過ごしますか。

普段と同じように洗濯したりご飯を作ったりします。あとは友人とご飯を食べに行ったり、ゆっくり体を休めます。休みとか関係なく時間を見つけたら居間のソファで寝ています笑 昔は本を読むのが好きでSF小説をよく読んでいました。

・将来は？

お父さんと二人で温泉巡りでもしたいな…時々孫の面倒も見ながらね☆できればドイツ

旅行もしたいと思っています。

・子供たちに期待することは

自立した生活ができるようになればいいと思います。

長男はすでに就職して一人暮らしですが、まだまだ心配なことがあります。とにかく健康に過ごしていればいいなと思います。あまり積極的な子じゃないので・・・。

長女は今とにかく学業に専念して、たくさんの知識を身につけて、3年後には国家資格を取れるように頑張ってもらいたいと思います。時々お母さんとも遊んでね☆

次女は今年受験生になるので、高校受験に向けて必死に頑張ってもらいたいと思います。その前に部活のテニスの中総体も後悔しないように頑張ってもらいたいと思います。あと早く鉄欠乏性貧血治そうね♡

・今の仕事について

遅番が多いので家族と一緒に夕ご飯が食べられないのが残念です。仕事はお客さんが相手なのでみんなに同じように接していくのが大変です。レジ打ちが何年経っても慣れません。5時間立ちっぱなしなのでちょっと大変です。

・今は忙しいと感じていますか

忙しいと思っています。

### 3. インタビューの結果わかったこと

今回母へのインタビューを通して、主婦業と仕事とをバランスよくこなしながら、自分への休息も忘れない生活をしているなあ、と感じました。でも仕事はきついみたいなのでわたしもちゃんとサポートしていけたらいいなと思いました。

普段から母とはよく会話するのでインタビュー中はたまに話が脱線しながらでしたが、楽しくインタビューすることができました。また話をしている今回の結果の中には含むことはできませんでしたが、自分の子どもたちについても多く話をしていました。

私の知らない部分の話といえば、意外にも高校時代の友人とよくランチしに行っていたということでした。

わたしはほかのみんなとは違って自分の「家族」にインタビューを行ったので多少やりにくい部分もありました。結構一緒にいることも多く、相手のことなら大半は分かっているという状況のため質問を考えるのにとっても苦労しました。

母と19年間一緒に生活していてこんな話をするのは初めてだったし、課題の意味もよくわからないままでやったので、今回のインタビュー結果これでいいのかと思いましたが、なんとかレポートを書くまでになったのでちゃんとまとめられていればと思います。

あらためてインタビュー結果だけ見ると普通の会話のように見えるので、今回はタイトルを親子の会話にしました。

## 4. 日本事情Ⅱを振り返って

今回この授業を通して母にインタビューしてレポートを書くまでとても大変でした。とくにインタビュー相手はすぐに決まったのですが、インタビューの内容を考えるのが大変でした。テーマも与えられず、何を聞いていいのかもわからず、最後までやり通すのはやっぱり無理かなとも思いました。

また、最初にレポートの字数を聞いて無謀だと思いました。レポートの期日もあまり守れなかったし、この授業は私には向いてないのではないかと思いました。しかし時間はかかりながらもなんとかレポートまでたどり着きました。

この日本事情の授業では留学生の人と交流を持てたことが、いちばんいい経験となった気がします。わたしは手形キャンパスに来る機会が少ないのであまり留学生の人を見かけることはありませんでした。しかしこの授業を通して韓国人の「ソンちゃん」と「ドンちゃん」と出会うことができました。グループのみんなでお互いの国の文化や違いについて話すのがとても楽しかったです。韓国の人から見たら日本人は消極的であることや、韓国と日本での男女のかかわり方の違い、食事のマナーや友達との付き合い方などさまざまな違いを知ることができました。2人とも積極的に私たちに話してくれたり、テストが近いという話をしたら応援してくれたりと本当にやさしい2人でした。

2年生になるとまったく手形キャンパスには来ないので充実した時間を過ごせたと思います。